

2013.3.20
受験生の点数
「不正に操作」

岡山県立大、教員が告発

岡山県立大（同県総社市）は19日、2011年に実施したデザイン学部造形デザイン学科の入試で、合格ラインに達していた受験生の点数を教員が不正操作し、不合格にしたとする告発が同じ学部の教員からあったことを明らかにした。大学は3月初めに調査委員会を設置。大学側は「現時点では告発は事実と異なる可能性が高いとみており、慎重に調査する」としている。告発文が2月末、学長に届いた。

2013.4.30
日大で採点ミス
25人を追加合格

文理学部入試

日本大は30日、2月に実施した文理学部の入試で採点ミスがあり、再び

合格の4人を不合格に

北九州市立大がミス

北九州市立大は3日まで、2月に実施した法学部法律学科の前期日程入試で、合格と判定された4人を誤って不合格にしていたと発表した。担当教授の確認ミスが原因で、大学側は4人に謝罪した。

2013.4.3

採点した結果、25人を追加合格にしたと発表した。日大によると、選択科目の「物理」の問題作成段階で修正した部分が正答に反映されず、計3問の正答が間違っていた。

22日に学内からの指摘で発覚。追加合格者には既に他大学へ通っている人もいるが、日大への転学を希望する場合は、必要な経費を大学側が負担する。日大は「問題作成や試験前のチェック態勢を見直し、再発防止に努めたい」としている。

こころの健康学

試験恐怖 どう克服



イラスト・大塚 いちお

考え方、上手に切り替えて

受験シーズンが始まった。受験生も親も、落ち着かない毎日だろう。そう思うのも、私の試験恐怖のためだ。

私は、大学受験に失敗し続けた。それからというもの、折々に、試験にまつわる悪夢を見るようになった。準備不足で焦っていたり、問題が解けずに頭が真っ白になったりしている夢だ。

私たちは、できないと思うと問題に集中するのが難しくなってしまう。そして、どうすることもできないと考え、自分を追いつめてしまう。次の問題に取りかかる意欲もなくなってくる。どうせダメだ

という思いにとらわれ、こころの中の状況はますます悪くなる。

一方、ひとつでも問題が解けると、うれしくなり次の問題に取り組む意欲が湧いてくる。集中力が出て、いつもの、いや、いつも以上の力が出せるようになる。私たちの力は、考え方によって随分違ってくるのだ。

ただ、考え方の切り替えは、頭の中だけではうまくいかない。自分はできるんだと自己暗示をかけても、少しづつずつただで、やはりダメだという考えが強くなる。上手に切り替えるには、小さいこと

でも、できたという体験をすることが大切だ。

そのためには、試験問題全体を眺めて、できそうな問題から手をつけることだ。その問題ができなければ、早めにあきらめ、他のできそうな問題に取りかかる。そうした思い切りの良さが必要だ。

（国立精神・神経医療研究センター 大野 裕）